

当社の第93回定時株主総会の議案に関する補足説明について

本年6月5日付で株主の皆様にお送り致しました『第93回定時株主総会招集御通知』に記載の各議案に関連し、本日までの間に、当社の株主（議決権行使助言会社を含む。）の皆様から寄せられた、当社の株主資本利益率（ROE）、取締役会の独立性及び監査役候補者の独立性に関するご意見等に関し、以下のとおり補足説明を申し上げます。ご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

1. 第2号議案（取締役13名選任の件）

Q1. 当社の株主資本利益率（ROE）は4.6%と低迷しており、過去5年平均でも5%を下回る水準に留まっており、資本効率が悪いのではないかと？

A1.

➤ 当社のROEは、過去5年間において、以下のとおり推移しております。

2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
-5.9%	9.6%	7.6%	5.1%	4.6%

- 2012年度から2016年度までの直近5期平均で見ますとROEは4.2%となりますが、このうち新日本製鐵株（当時）と住友金属工業株（当時）が経営統合した2012年度は、当社において事業用資産の減損損失を計上し、また住友金属工業株式の売却に伴う投資有価証券売却損を計上するなど一過性の特別損失が発生したことから同期のROEは-5.9%に留まりました。
- 直近4期平均で見ますとROEは6.7%、直近3期平均では同5.8%となっております。また、半期単位で見れば、2016年度上期：同0.8%、同下期：同8.6%と、足下、大きく改善しております。
- 当社といたしましては、国内マザーミルの競争力強化、グローバル戦略の推進、グループ会社の体質強化等に引き続き取り組み、ROSの改善、資産圧縮等による資産効率の改善を行い、2017年度中期経営計画で掲げたROE10%の目標値の実現に向けて鋭意努力して参ります。

Q2. 当社の取締役会における独立取締役の数又は比率が低いのではないかと？

A2.

- 次頁の表1に記載のとおり、本総会後の当社取締役会出席者20名のうち6名（内訳：社外取締役2名及び社外監査役4名）は、いずれも独立性を備えた社外役員であり、その比率は、全体の30%を占めております。
- 監査役は、主に以下のような特徴を有しており、業務執行取締役を監視・監督できる強力な法的権限を有しております。
- ① 取締役会から完全に独立した機関であり、法的に強い監査権を有している。
 - ② 独任制が採用されており、多数決によらずに個人が監査権を行使できる。
 - ③ 取締役の任期は通常1年であるが、監査役の任期は4年であり、取締役会に選解任権はない。

(表1) 取締役会構成(第93回定時株主総会後): **社外役員比率 30%**

取締役	社内取締役	11名	業務執行者
	社外取締役	2名	非業務執行者 (経営の監督・監視に専念)
監査役	社内常勤監査役	3名	
	社外監査役	4名	
取締役会出席者		計20名	

2. 第3号議案(監査役1名選任の件)

Q1. 独立社外監査役候補者である永易克典氏は、独立性に欠けているのではないか?

A1.

- 永易氏につきましては、他の社外取締役及び社外監査役と同様に、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、国内の各上場金融商品取引所が定める届出基準を満たしていることから、各上場金融商品取引所に対し、独立役員として届け出ております。
- 同氏は、当社の借入先のひとつである株式会社三菱東京UFJ銀行の相談役であります。現在は、同銀行の会長、社長その他の業務執行者ではありません。
- 当社は、下記の表2に記載のとおり、同銀行に限らず、複数の金融機関等から広く資金を調達しており、同銀行は当社の特定関係事業者ではありません。
- 同銀行の当社株式への出資比率は、『第93回定時株主総会招集御通知』37ページに記載のとおり1.5%にとどまっております。

(表2) 主要な借入先等(平成29年3月31日現在)

: **三菱東京UFJ銀行からの借入額は当社連結有利子負債総額の13.2%**

借入先	借入額(億円)	比率
(株)三菱東京UFJ銀行	2,779	13.2%
(株)三井住友銀行	2,753	13.1%
(株)みずほ銀行	2,573	12.2%
三井住友信託銀行(株)	1,263	6.0%
明治安田生命保険(相)	919	4.4%
連結有利子負債総額	21,048	100%

以上

(注) 本資料は、株主総会参考書類とは別に、議案に関する補足情報をご提供することを目的としております。